

図書波下より

第 65 号

平成13年6月30日
愛媛大学附属図書館

目 次

| | |
|---|---|
| 21世紀の学術情報基盤の構築 —愛媛大学附属図書館の 電子ジャーナル化への取り組み— …………… 1 | 平成12年度附属図書館統計 ……………10 農学部分館からのお知らせ ……………11 OPAC説明会を開催 ……………11 ホームページから ……………11 附属図書館委員会委員 ……………12 附属図書館委員会 ……………12 人事異動 ……………12 図書館日誌（会議，研修） ……………12 |
| 芸予地震被害について …………… 6 | |
| 西条市より受託研究の申込み …………… 8 | |
| お知らせ …………… 8 | |
| 愛媛大学記念文庫 …………… 9 | |

http://www.lib.ehime-u.ac.jp/

21 世紀 の 学 術 情 報 基 盤 の 構 築

—愛媛大学附属図書館の電子ジャーナル化への取り組み—

柏 谷 増 男

1. 電子ジャーナル化問題

ここ数年、学術雑誌特に欧文雑誌の電子ジャーナル化が急速に進みつつある。電子ジャーナルは、これまでの紙媒体を用いた雑誌とは異なって、読者が研究室のパソコンからインターネットを經由して出版社のサーバに保存されている電子情報としての学術論文に直接アクセスするもので、出版社、読者双方に多大の便益を産むものと期待されている。しかしながら、このような情報技術の一大変革は、単に印刷や流通段階の技術革新にとどまらず、出版ビジネスのあり方や読者のサービス負担方式、さらには図書館の役割等にもわたる広範な変革を促している。極端に言えば、書物を保管し、利用に供するという図書館の存在すら危うくしかねない。情報技術の変革が従来の社会システムを大きく変えて行く、いわゆる“IT革命”のひとつの現れと言ってよからう。

変革は期待とともに不安をももたらす。商業系出版社はこの変革をビジネスチャンスと捉え、さまざまな商品パッケージを開発しつつあるが、価格とサービスのバランスを見た場合、読者と出版社双方が納得の行く商品はほとんどなく、現在では、期待と不安の入り混じった混乱のみが先行していると言えなくもない。国立大学図書館協議会でもこの問題は焦眉の課題とされ、この問題に対応するタスクフォースが昨年秋に発足し、精力的に海外の有力雑誌出版社と交渉を重ねている。愛媛大学でも、平成13年度からの校費配分方式の見直しともからみあわせて、平成12年より附属図書館将来計画委員会で電子ジャーナル化への対応を検討し始めている。

これに関連して、附属図書館自己点検・評価委員会では、平成12年12月に愛媛大学教官を対象にした

雑誌利用に関するアンケート調査を行い、そのなかで電子ジャーナルの利用状況についても質問をさせていただいた。その結果、“電子ジャーナルを週1回以上利用されている”方が約23%いる反面、“あることを知らなかった”方がほぼ同数の約22%いることがわかった。アンケートの回収率は約3分の1であり、図書館サービス、特にホームページを通じたサービスを良く利用して下さっている方々の回答率が高かったことを考慮すると、電子ジャーナルの内容を十分御理解いただいていない教官が多数おられる状況が予想される。これに対して、後で述べるように、電子ジャーナル化への対応には全学共通の学術基盤としての金銭負担が何らかの形で避けられなく、全学教官の合意を得る必要がある。ここでは、電子ジャーナルへの理解を深めていただくとともに、現在の状況と課題について報告し、愛媛大学としての電子ジャーナル化への取り組みに対する合意形成の一助としたい。

2. 電子ジャーナルの利点と弱点

電子ジャーナルの利点と弱点は、これまでにさまざまな資料で述べられている。ここではそれらを愛媛大学に即した形でまとめてみる¹⁾。

第1は発行の迅速性である。電子ジャーナルでは印刷や流通等の行程を省略できるので、多くの場合冊子体よりも早く利用できるようになる。東京大学の調査では平均して2, 3週間早く利用できるよくだとの報告もあるが、私が良く見ている“Transportation Research, A”の場合、5月末時点での冊子体の最新号が5月号であるのに対して、電子ジャーナルを利用すれば6月号、7月号を見ることが出来、個人的な実感ではその差はもっと大きいのではないかと推察される。学術雑誌出版社のほとんどがアメリカまたはヨーロッパで発行しているので、電子ジャーナルによって海外との情報格差を克服できることは、我が国の研究者にとってありがたいことである。特に、日進月歩の先端科学分野の研究者にとっては、世界的な研究競争の中での最新情報の獲得は死活問題であろう。

第2は、インターネットに接続したパソコンさえあれば、学内の研究室から24時間いつでも、また複数の利用者が同時に利用できることである。愛媛大学でも相対的には少ないものの本館所蔵雑誌もいくつかあり、医学部分館では大部分の雑誌が分館に所蔵されている。その外、学科の図書室に所蔵されている場合もあって、冊子体の場合にはいつでも自室で雑誌を見られるわけではない。また、他学部で購入している雑誌を見ることは、手続き等わずらわしいことが多く、現実にはさまざまな困難がつきまとう。しかし、電子ジャーナルでは、誰に気兼ねすることもなく、きままに雑誌を見ることが出来る。

第3は、電子ジャーナルが多くの検索機能やリンク機能を備えていることである。ほとんどの電子ジャーナルでは、同一出版社またはグループが提供するすべての雑誌について、著者名やキーワードから読みたい論文のリストやその本文自体を参照することが出来る。また、最近では異なる電子ジャーナル提供機関を横断する相互リンクシステムも検討されているようで、関連論文の系統的な検索に大いに役立っている。

その外に、筆者は、電子ジャーナルが予算の少ない若い研究者の強力な研究支援となることを期待している。学術雑誌は通常校費で購入しているので、積算校費の少ない若い研究者が独立した新しい研究テーマを持つとすると、そのために必要な雑誌を購入することはなかなか難しいと思われる。現在、出版社のほとんどがセットメニューの販売を企画しているので、研究機関が電子ジャーナルを購入すれば、従来購入していなかった雑誌も自由に見ることが出来る。規模の小さい地方大学で果敢に新しいテーマに挑戦する若い研究者を育成するためには、電子ジャーナルは強力な武器になると思われる。

また、紙媒体を持たないために、書架スペースや製本費が不要になることも利点のひとつと考えられる。

弱点については、インターネットに接続したパソコンのあるところでしか使えないとか、バックナンバー情報の提供が本当に保証されるのかといったことが考えられるが、技術的または制度的にさほど困

難な課題とは思えない。最も重大な問題は後で詳しく述べるが、電子ジャーナルの購入システム、特に価格とその負担方法をめぐる課題である。

なお、出版社側から見れば、著者原稿が電子媒体の形で出されているため、物理的な編集業務はほとんど不要となり、大幅な経費削減が可能となる。このため、数年後には冊子体はなくなるか、存続したとしても極めて高価になるとの予想もある。

3. 愛媛大学で現在利用しうる電子ジャーナルサービスについて

はじめに雑誌購入状況を概観すると、平成11年度愛媛大学の受入雑誌種類数は、寄贈分も含めて和雑誌5,561、洋雑誌2,515である。また、支払い金額は、和雑誌3,229万円、洋雑誌1億9,134万円となっている。

現在利用しうる愛媛大学電子ジャーナル関連サービスは、(1)全学利用無料コンテンツサービス、(2)医学部限定利用コンテンツサービス、(3)2次情報サービスに大別される。以下、この順に簡単に内容を述べる。

(1) 全学利用無料コンテンツサービス。

雑誌の編集時点での最新号および1年間程度のバックナンバーのフルテキストを図表も含めて、見ることができる。ハードコピーも可能。

- Elsevier Science, Science Direct 21. Elsevier Science 社 (Pergamon 等系列出版社も含む) の学術雑誌約1,100タイトルを含む。なお、対象雑誌のうち、本学購読雑誌数は156。無料トライアル期間は平成13年12月末日まで。
- Oxford University Press 刊行電子ジャーナル。Oxford University Press 刊行の学術雑誌約180タイトルの試験提供。試験提供期間は平成14年3月31日まで。
- 本学購入雑誌の電子ジャーナル。本学で冊子体を購入している雑誌のうち、洋雑誌426タイトル、和雑誌2タイトルについて付随的な電子ジャーナルサービスを受けることができる。上記の2つの電子ジャーナルとの重複あり。電子ジャーナルサービスは冊子体購入に関わる出版社側の好意として行われているため、提供期間等は把握出来ていない。

このうち、Elsevier Science 社は冊子体購入額によってはサービスを提供する意向であるが、平成14年度基準額に本学の予定購入額が達しない見通しであり、本学での無料トライアル延長は極めて困難である。

(2) 医学部限定利用コンテンツサービス。

医学部が有料の電子ジャーナルを購入しているもので、医学部キャンパス内のパソコンからのみアクセスできる。(1)と同様にフルテキストを図表も含めて、見ることができ、ハードコピーも可能。

- ProQuest Medical Library. アメリカBHIL (Bell and Howell Information and Learning) 社が提供する、臨床系商業誌を中心とした約200誌で構成。
- IDEAL (International Digital Electronic Access Library). Academic Press, Harcourt Health Sciences (Churchill Livingstone と W.B. Saunders, Ltd.を含む) 及び他の出版社の約250種類の雑誌で構成。

(3) 2次情報サービス

対象となる雑誌に収録されている論文の題目、著者等を知ることができる。コンテンツに対してキーワード検索も可能。全学で利用できるSwetScanと医学部あるいは農学部のみ限定利用できるものがある。

- Current Contents Information Retrieval System. オランダの Swets 社が全世界の主要学術雑誌約14,000タイトルを対象として提供している2次情報サービスを附属図書館が購入し、それをベー

スとしたうえで、本学附属図書館がさらに付加価値をつけたもの。データの更新はほぼ毎日行なわれており、利用者が検索式を登録しておく、新着情報にもとづいた検索結果をメールで送信してくれる。検索したあと、利用者が必要とする論文は文献複写依頼を図書館に申し込むことができる。サービスは有料だが、基本料金年額3,000円程度でいくらでも利用できる。ただし、文献複写料金は別途必要。

- 医学中央雑誌。医学系の和文雑誌を対象としている。利用は医学部に限定されている。
- CINAHL (Cumulative Index to Nursing and Allied Health Literature)。看護・医療技術関連の文献データベース。利用は医学部に限定されている。
- AGRICOLA。農学系データベース。

4. 国立大学図書館の取り組み

(1) 国立大学図書館協議会

近年の電子ジャーナルの急速な普及に伴い、国立大学図書館協議会では平成10年度に「図書館電子化システム特別委員会」を設置して、トライアルの評価や地域的サービス体制（コンソーシアム）について検討を開始した。また、電子ジャーナルの導入と利用方策に早くから取り組んでいた東京・関東の国立大学図書館ではワーキンググループを結成して積極的に実質的な検討を進めてきた。こうした努力を背景として、平成12年度に国立大学図書館協議会内に「電子ジャーナル・タスクフォース（主査館、名古屋大学）」が設置された。タスクフォースは、主要出版社との価格体系や提供条件の協議、講習会・フォーラムの開催、各図書館のモニター制度、アンケートの実施等、精力的な活動を展開している。これまで、Elsevier Science社、Springer-Verlag、Blackwell系列各社、John Wiley社等と具体的に販売方針や価格方針について検討を重ねてきたが、出版社側と図書館側との意見の相違も大きく、また、双方ともに必ずしも意見が集約しきれていなく、交渉を続行中である。

(2) JIOC/NU (Japan IDEAL Open Consortium/National University)

Academic Press社提供の電子ジャーナルサービス IDEAL 利用のために、関東地区の大学が呼びかけ、本学を含む全国各地の17国立大学が参加している我国初の本格的コンソーシアム。ユーザー間の情報交換や意見の吸い上げなどを整備するとともに、Academic Press社との価格交渉や供給条件で多くの成果をあげつつある。

5. 愛媛大学附属図書館の取り組み状況と今後の課題

平成12年の国立大学図書館協議会では、今後予想される校費予算の制度改革に伴う雑誌購入のあり方が重要な討議課題であった。愛媛大学でも、平成13年度からの予算費目変更に伴う雑誌購入の一元化を附属図書館将来計画委員会の議題としたが、全学的観点からの雑誌選定の困難さ、また学部別の負担金問題のため、取り組みを中断せざるを得なくなった。しかし、この議論のなかで電子ジャーナルに的を絞って購入の一元化を推進してはどうかとの意見が出た。一方、平成12年度からElsevier Science社の電子ジャーナル無料トライアルが始まったが、アクセス数は9ヶ月で約10,000件に達するとともに、本学未購入の雑誌へのアクセスがかなり多い等、電子ジャーナルの有用性が高いことが実感された。このような背景のもとで、附属図書館では、電子ジャーナルへの本格的な取り組みを始めた。まず、電子ジャーナルに関心を持っていただくために、9月に電子ジャーナルに詳しい大学図書館関係者および取次店関係者を招いて学術講演会を実施した。また、JIOC/NUに参加してIDEALを導入、あるいはElsevier Science社の平成13年無料トライアル延長等、電子ジャーナルサービス提供のための努力を重ねてきた。さらに、愛媛大学附属図書館自己点検・評価委員会が12月に実施した雑誌利用アンケートのなかで、電子ジャー

ナルの利用実態を詳しく調べることとした。

平成13年2月の将来計画委員会では Science Direct 21 (収録1,100タイトル), IDEAL (収録250タイトル), ProQuest (収録1,500タイトル), Expanded Academic ASAP International (収録1,000タイトル) 等を具体的に取り上げ、愛媛大学への導入可能性を検討することとした。

まず、基本的な電子ジャーナルの選定や費用の負担方法について、学部での意見分布を尋ねたが、電子ジャーナルの有用性には賛同を得たものの、選定や費用負担等の課題が大きいことがわかった。一方、この間のタスクフォースの動きからも、出版社側、大学図書館側双方ともに状況を模索する様子が見えられたため、愛媛大学附属図書館としては、情報の収集と整理に努めた後、改めて将来計画委員会での議論をお願いする予定である。

電子ジャーナル購入に関する問題点を現時点でまとめると、第1には、思った以上に価格が高いことがあげられる。その背景にはさまざまに複雑な事情が考えられるが、タスクフォースの力も借りながら、愛媛大学附属図書館としても勉強を重ねつつ、出版社側とねばり強く交渉を進めたい。第2は、商品であるサービス・パッケージの内容が多様であり、サービスと価格との関係を把握しづらいことである。一例として Elsevier Science 社の場合を取り上げると、従来の購読冊子体の一部を電子ジャーナル契約するリミテッド・コレクション契約、従来の購読冊子体の全部を電子ジャーナル契約するコンプリート・コレクション契約、従来の購読冊子体以外の雑誌をも含む分野別電子ジャーナル契約のサブジェクト・コレクション契約、提供可能な雑誌全体を電子ジャーナル契約するフリーダム・コレクション契約等がある。仮に愛媛大学への導入を考えたとしても、価格との関係をも踏まえて、どこに焦点をあてるべきかは、大学としての研究基盤形成の方針を受けて検討すべきであろう。第3は、コンソーシアムに係る問題である。愛媛大学単独で主要な電子ジャーナルを網羅することは財政的に極めて困難である。このため、複数大学が分担しあって共同購入する方式がコンソーシアムであるが、コンソーシアムを結成した場合、参加大学が運命共同体となることを要請されるかも知れない。その場合、負担金額や出版社側との調整役をめぐるさまざまな問題が考えられるが、それ以前に、そもそも各図書館が自由を束縛されることに重大な懸念があるとの意見もあろう。第4は、学内での費用分担である。従来の愛媛大学の雑誌購入費のほとんどは校費によるもので、各学部、場合によっては各教官に配分された後、学部、学科、講座、個別教官等が購入雑誌を決定している。したがって、利用形態にも所属組織の優先性が見られ、経費の面でも所属組織からの積み上げ型となっている。これに対して、電子ジャーナルは、誰でもパソコンから自由に見ることのできる共通財産であり、経費の面でも全学負担が考えられる。このように利用形態や経費負担方法の極端な変化に対して、全学の合意を得ることは容易ではない。

以上に述べたように、電子ジャーナルの導入には、数多くの困難な課題が横たわっている。しかしながら、電子ジャーナルへの時代の流れはとうとうと大きく、日毎に勢いを増している。最早引き返すことのできない自然の流れと言っても過言ではない。電子ジャーナルは、21世紀に輝ける研究拠点を目指す上で欠くことのできない全学共通の研究基盤である。愛媛大学のすべての教職員、学生の皆さんに電子ジャーナルの問題を正しく認識していただき、共通の研究基盤形成を考えていただきたい。

引用文献

- 1) 坂上光明, 電子ジャーナルをめぐる最近の話題, 檜蔭—北海道大学図書館報, No.108, Dec. 2000, pp.1-5.
- 2) 国立大学図書館協議会, オンラインジャーナルの導入と外国雑誌収集のあり方, 第13回国立大学図書館協議会シンポジウム, 2000. (かしわだに ますお 附属図書館長)

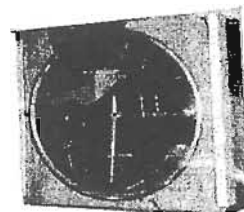
芸予地震被害について

平成13年3月24日土曜日午後3時28分頃に発生した芸予地震は、当地で震度5強におよびました。

当日は、本館及び医学部分館が開館していましたが、幸いにも人的な被害はなかったものの揺れがひどく、図書館にも少なからず影響を与えました。

図書館HPでは、3月27日に地震災害状況報告（速報版）として被害状況と開館状況・予定について公開しました。

特に被害の大きかった本館・農学部分館では、一日も早くサービスを再開できるよう大学の支援のもと館員一同が復旧に努めました。そして、新生を迎える前に平常どおりの開館に目処がつき、4月9日には芸予地震災害の記録を図書館HPに公開しました。



地震で壊れた時計
午後3時半で止まっている

【被害状況】

| 館名 | 場所 | 被害状況 | 落下冊数 (概数) |
|----|-----|---|--------------|
| 本館 | 1階 | ①図書が書架より広範囲落下、散乱 ②コピーコーナーの壁面ひび割れ ③事務室書類散乱 ④湯沸室備品落下、破損 ⑤南、北壁面ひび割れ ⑥自由閲覧室西壁面・階段壁面ひび割れ ⑦新旧建物境目、亀裂発生 | 5,700 |
| | 2階 | ①図書が書架より広範囲落下、散乱 ②キャビネット2本転倒 ③木製書架2本転倒 ④天井板1枚落下 ⑤スチール製書架1本湾曲 ⑥第1開架室床落ち、段差発生 ⑦第1開架室南壁面・西壁面ひび割れ ⑧第2開架室南・西北非常口壁面ひび割れ ⑨階段壁面ひび割れ ⑩トイレ東壁面ひび割れ ⑪新旧建物境目、亀裂発生 | 74,000 |
| | 3階 | ①図書が書架より広範囲落下、散乱 ②貴重図書室南壁面ひび割れ ③倉庫南壁面ひび割れ ④留学生センター北壁面ひび割れ ⑤放送大学学生控室北壁面ひび割れ ⑥放送大学控室東柱モルタル剥がれ、落下 ⑦新旧建物境目、亀裂発生 | 10,000 |
| | 4階 | ①館長室、部長室机上パソコン落下、破損 ②館長室額等落下、破損 ③部長室キャビネット・テレビ転倒 ④事務室書類散乱 ⑤木製書架2本転倒 ⑥書棚2本転倒 ⑦机上CD-ROMサーバ落下、転倒 ⑧水棚転倒、湯沸室内散乱 ⑨管理課事務室北・南・東壁面、小会議室壁面、視聴覚室壁面、倉庫壁面、女子更衣室北壁面ひび割れ ⑩空調機室機械土台ひび割れ | |
| | 書庫 | ①図書が書架より落下、散乱 ②壁面書架1本転倒 ③2層北書庫北壁面ひび割れ ④3層中央連結部壁面、西北連結部壁面ひび割れ ⑤3層北書庫入口部天井ひび割れ ⑥4層中央書庫階段壁面、北書庫北窓壁面ひび割れ ⑦5層西書庫南壁面ひび割れ ⑧6層西書庫南壁面ひび割れ ⑨6層西書庫柱モルタル剥がれ、落下 | 5,400 |
| | その他 | ①エレベータ停止 | |

| | | | |
|----------|-----|--|---------|
| 農学部分館 | 1階 | ①図書が書架より広範囲落下，散乱 | |
| | 2階 | ①図書が書架より広範囲落下，散乱 ②総合情報処理センター分室への階段，接合部の天板落下（接合部がゴムで覆われているため，詳細不明。柱と側板の間も一部亀裂あり。） | 1,200 |
| | 書庫 | ①図書が書架より広範囲落下，散乱 ②2層書架1連1本，2連3本転倒 ③3層書架2連1本転倒 ④4層書架1連1本，2連3本転倒 | 7,200 |
| | その他 | ①新旧建物境目（床・天井）亀裂発生 | |
| 合 計（概 数） | | | 103,500 |

【サービス状況】

| 区 分 | 3/24 | 3/25 | 3/26 | 3/27 | 3/28 | 3/29 | 3/30 | 3/31 | 4/1 | 4/2 | 4/3 | 4/4 | 4/5 | 4/6 | 4/7 | 4/8 | 4/9 | 4/10 | |
|-------|----------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|
| | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | |
| 本館 | 自由閲覧室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 開架閲覧室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 書庫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 夜間閲覧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(依頼) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(受付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| 医学部分館 | 開架閲覧室 | ■ | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 書庫 | ■ | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 夜間閲覧 | ■ | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 24時間入退館 | ■ | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(依頼) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(受付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| 農学部分館 | 開架閲覧室 | | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 書庫 | | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 夜間閲覧 | | | | | | | | ■ | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(依頼) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |
| | 文献複写(受付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | → |

- 注1) 土・日曜日の文献複写はオンライン受付のみ
- 注2) 本館は地震発生後，臨時休館
- 注3) 医学部は，地震当日被害が少なかったため，そのまま運用
- 注4) 医学部分館，農学部分館は日曜休館

【作業状況】

| 階 | 場 所 | 落下冊数 (概数) | 3月26日 | 3月27日 | | | 3月28日 | | 3月29日 | | 3月30日 | 4月3日 |
|----|---------|--------------|-------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------|------|
| | | | 月 | 火 | | 水 | | 木 | | 金 | 火 | |
| | | | | 9:00-10:30 | 10:30-15:00 | 15:00-17:00 | 9:00-12:00 | 12:00-14:30 | 9:00-12:00 | 13:00-17:00 | | |
| 本館 | 事務室 | | 15名 | | | | | | | | | |
| | 1 参考図書室 | 5,655 | | 13+4名 | | | | | | | | |
| | 2 第1開架室 | 48,000 | | | 13+4名 | | 8+4名 | 10+4名 | 9+4名 | | | |
| | 2 第2開架室 | 26,000 | | | | 13+4名 | | | | | | |
| | 3 第3開架室 | 10,000 | | | | | | | 9+4名 | | | |
| | 書庫 | 5,392 | | | | | | | | 9+4名 | | |
| 農分 | 2 閲覧室 | 1,185 | | 4名 | 4名 | 4名 | | | | | | |
| | 書庫 | 7,120 | | | | | 3名 | | | | 7名 | |

注) +の後の数字は夜間要員

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災から6年、災害は忘れた頃にやってくるという言葉を実感した次第ですが、まさに「地震列島日本」にある図書館としての対応と対策を日頃から立てておく必要を痛感しています。

本年4月下旬、広島大学で開催された第49回中国四国地区大学図書館協議会総会では、「大規模地震災害時の連絡網等について」及び「大規模自然災害発生時の連絡体制等に関する申合せについて」協議されました。

多くの方から、ご心配と激励の電話やメールをいただきました。紙面を借りて心からお礼の言葉を述べさせていただきます。どうもありがとうございました。

西条市より受託研究の申込み

西条市から受託研究の申込みをいただきました。図書館では、平成13年度に発足したデジタルコンテンツ研究会を中心に企画作成にとりかかる予定です。なお、地方自治体からの資金導入は、国立大学附属図書館として新たな試みです。今後とも地域との交流と文化発展に向けて、掘り起こしを進めて行きたいと考えています。

受託研究の題目：西條誌CD-ROM作成作業

研究目的及び内容：愛媛大学附属図書館蔵「西條誌稿本」は、地域郷土史研究の基礎的宝典史書・地誌である。この歴史的資料をデジタル化し、解説やキャプションを付加してCD-ROMを作成する。この成果物（CD-ROM）は、パソコン単独で利用することができ、西条市図書館や、中・高等学校に提供する。

お知らせ

夏季休業中の開館時間について

8月1日(水)から9月30日(日)まで夏季休業になりますので、本館・農学部分館の開館日時及び休館日が次のとおりになります。

本館

開館時間：月曜日－金曜日 9：00－17：00

休館日：土曜日、日曜日及び国民の祝日

医学部分館 平常どおり

農学部分館

開館時間：月曜日－金曜日 9：00－20：00

休館日：土曜日、日曜日及び国民の祝日

図書の特例（長期）貸出について

本館および農学部分館では、夏季休業にともない次のとおり特例（長期）貸出をします。

本館は資料サービス係、農学部分館は情報サービス係で手続きをしてください。

貸出冊数：5冊以内

取扱期間：7月23日(月)－9月20日(木)

返却期限：10月5日(金)

愛媛大学記念文庫

平成12年度に下記の先生方から著書を御寄贈いただきました。(順不同、敬称略)

| 寄贈者 | 書名 | 編著者 | 出版者 | 出版年 |
|----------------|---|--|-----------------------------|------|
| 鈴木 教司 | フランス(ヴァロワ期)民事訴訟史:書面主義の歴史的背景(愛媛大学法学研究叢書2) | 鈴木教司著 | 愛媛大学法文学部 総合政策学科 | 2000 |
| 松永 達 | 国策会社・東拓の研究 | 河合和男[ほか]著 | 不二出版 | 2000 |
| 高橋 基泰 | 村の相伝:近代英国編:親族構造・相続慣行・世代継承 | 高橋基泰著 | 刀水書房 | 1999 |
| 藤江 啓子 | 藤井治彦先生退官記念論文集 | 藤井治彦先生退官記念 論文集刊行会編 | 英宝社 | 2000 |
| 愛媛大学経済学会 | 市場構造の理論:景気循環の一つの根拠(愛媛大学経済学会叢書2) | 谷川宗隆著 | 東京経済情報出版 | 2000 |
| 守口 三郎 | 病と文学 | 守口三郎著 | 英宝社 | 2000 |
| 加藤 好文 | スタインベック・作家作品論:ハヤシ・テツマロ博士退職記念論文集 | 橋口保夫, 白神栄子編 | 英宝社 | 1995 |
| 高橋 信之 森 孝明 | Das Haiku heute und seine Kriterien | Nobuyuki Takahashi, Karlheinz Walzock, Takaaki Mori ; herausgegeben von Nobuyuki Takahashi | Aoba Verlag | 1992 |
| 森 孝明 | メーリケ詩集 改訂版 | メーリケ[著] 森孝明訳 | 三修社 | 2000 |
| 森 孝明 | ドイツの名詩(はじめてであう世界の名詩3) | 桜井信夫編著 かみやしん絵 | あすなる書房 | 1994 |
| 愛媛大学人文学会 | 愛媛大学人文学会創立二十周年記念論集 | 愛媛大学人文学会編 | 愛媛大学人文学会 | 1996 |
| 福田 安典 | 驚きのえひめ古典史 (風ブックス 007 愛媛文学小鑑 その1) | 福田安典著 | 創風社出版 | 2000 |
| 加藤 國安 | 明教館・松山藩学校漢籍目録 | 加藤國安監修 | 愛媛県立図書館 | 2000 |
| 菊川 國夫 | 菊川國夫作品集:2000:孟子を書く | 菊川國夫[著] | 菊川國夫 | 2000 |
| 横田 俊昭 | Frontiers in dusty plasmas: proceedings of the Second International Conference on Physics of Dusty Plasmas, ICPDP-99, Hakone, Japan, 24-28 May 1999 | editors, Y.Nakamura, T.Yokota, P.K.Shukla | Elsevier | 2000 |
| 田邊 敬貴 | Affective minds: a collection of papers based on presentations at the 13th Toyota Conference, Shizuoka, Japan, 29 November to 2 December 1999 | edited by Giyoo Hatano, Naoyuki Okada and Hiroataka Tanabe | Elsevier | 2000 |
| 医学部皮膚科学講座 | MIKI'HOUSE'94:三木吉治教授学長就任記念随筆集と論文目録 | 愛媛大学医学部皮膚科学講座, 愛媛大学医学部皮膚科同門会[編集] | 愛媛大学医学部皮膚科学講座:愛媛大学医学部皮膚科同門会 | 1994 |
| 室 達朗 | 土砂磨耗の話:建設機械作業部品(テラメカニックスライブラリー4) | 土砂磨耗対策委員会編 | テラメカニックス研究会 | 2000 |
| 稲田 善紀 | 通り雨 | 稲田善紀著 | 新風舎 | 2000 |
| 鹿島 愛彦 | 愛媛県地質図 第4版 | 愛媛県地質図編集委員会 | トモエヤ商事 | 1991 |
| 逸見 彰男 | 産業廃棄物のゼオライト転換による再資源化・有効利用技術開発:石炭灰, 製紙スラッジ焼却灰, 活性汚泥焼却灰(環境対策シリーズ1) | 逸見彰男著 | ニュー・テクノロジー &サイエンス | 1994 |
| 農学部資源・環境政策学コース | 21世紀の資源・環境問題と農林漁業 | 岸康彦, 西頭徳三, 中川聰七郎編著 | 農林統計協会 | 2000 |

平成12年度附属図書館統計

蔵書冊数

(平成13年3月31日現在)

| 区分 | 和漢書 | 洋書 | 計 |
|-----|----------------------|----------------------|----------------------|
| 本館 | 670,330 ^冊 | 283,811 ^冊 | 954,141 ^冊 |
| 医分館 | 44,040 | 52,823 | 96,863 |
| 農分館 | 94,148 | 24,395 | 118,543 |
| 計 | 808,518 | 361,029 | 1,169,547 |

貸出冊数

| 区分 | 教職員 | 学生 | その他 | 計 |
|-----|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 本館 | 2,271 ^冊 | 68,136 ^冊 | 1,652 ^冊 | 72,059 ^冊 |
| 医分館 | 2,690 | 10,176 | 766 | 13,632 |
| 農分館 | 604 | 6,640 | 66 | 7,310 |
| 計 | 5,565 | 84,952 | 2,484 | 93,001 |

増加冊数

| 区分 | 和漢書 | 洋書 | 計 |
|-----|---------------------|--------------------|---------------------|
| 本館 | 15,089 ^冊 | 6,758 ^冊 | 21,847 ^冊 |
| 医分館 | 1,468 | 1,549 | 3,017 |
| 農分館 | 1,359 | 466 | 1,825 |
| 計 | 17,916 | 8,773 | 26,689 |

貸出人数

| 区分 | 教職員 | 学生 | その他 | 計 |
|-----|--------------------|---------------------|------------------|---------------------|
| 本館 | 1,177 ^人 | 33,844 ^人 | 785 ^人 | 35,806 ^人 |
| 医分館 | 1,478 | 6,938 | 515 | 8,931 |
| 農分館 | 318 | 3,674 | 34 | 4,026 |
| 計 | 2,973 | 44,456 | 1,334 | 48,763 |

所蔵雑誌種類数

(平成13年3月31日現在)

| 区分 | 和雑誌 | 洋雑誌 | 計 |
|-----|--------------------|--------------------|---------------------|
| 本館 | 7,413 ^種 | 3,247 ^種 | 10,660 ^種 |
| 医分館 | 1,392 | 1,085 | 2,477 |
| 農分館 | 2,681 | 897 | 3,578 |
| 計 | 11,486 | 5,229 | 16,715 |

学外文献複写受付件数 (現物貸借を含む)

| 区分 | 大学図書館 | その他 | 計 |
|-----|--------------------|------------------|--------------------|
| 本館 | 2,723 ^件 | 182 ^件 | 2,905 ^件 |
| 医分館 | 3,177 | 96 | 3,273 |
| 農分館 | 1,231 | 48 | 1,279 |
| 計 | 7,131 | 326 | 7,457 |

受入雑誌種類数

| 区分 | 和雑誌 | 洋雑誌 | 計 |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 本館 | 4,018 ^種 | 1,570 ^種 | 5,588 ^種 |
| 医分館 | 825 | 516 | 1,341 |
| 農分館 | 807 | 281 | 1,088 |
| 計 | 5,650 | 2,367 | 8,017 |

学外文献複写依頼件数 (現物貸借を含む)

| 区分 | 大学図書館 | その他 | 計 |
|-----|--------------------|------------------|--------------------|
| 本館 | 3,643 ^件 | 198 ^件 | 3,841 ^件 |
| 医分館 | 5,613 | 67 | 5,680 |
| 農分館 | 1,963 | 42 | 2,005 |
| 計 | 11,219 | 307 | 11,526 |

農学部分館からのお知らせ

学内文献複写にDDS (Document Delivery System) を導入しました。

すでに本館及び医学部分館で運用しておりますEPICWIN 7000を、このたび農学部分館でも導入しました。コピー機による文献複写から、画像伝送方式となり、今までの学内便より早く文献を利用者へお届けできます。

これにより、愛媛大学図書館全館で利用可能になり、4月から農学部分館もDDSの試行に参加しています。

ブックポストを設置しました。

農学部分館玄関横にブックポストを設置しました。

閉館時間中も図書の返却が出来るようになりました。

ただし、閉館時間内はカウンターで返却手続きをしてください。

OPAC 説明会を開催

5月21日(月)から6月8日(金)の15日間の日程で、図書館3階の第1グループ学習室においてOPAC説明会を開催しました。今まで知らなかったことが分かり参加して良かったと好評でした。

説明会の話には、これは便利ということがきつとあると思います。次の機会に参加しませんか。

ホームページから

購入雑誌リストについて

「購入雑誌リスト2001版」を附属図書館ホームページ(所蔵資料紹介)に公開しております。和文編、欧文編とも以下のとおりです。

URL <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/SHIRYO/zassilist2001.html>

平成13年度開館予定表

平成13年度の附属図書館開館予定表をホームページ(利用案内)で公開しております。本館・医学部分館・農学部分館の開館予定がそれぞれにわかりますのでご利用ください。

URL <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/RIYO/calendar01.html>

開館時間をホームページに掲載

ホームページに、本館・医学部分館・農学部分館の当日とあすの開館時間を掲載しました。どうぞご利用ください。

「学内限定サービス」の中の 3. 学術情報データベース検索について

URL <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/ContDB/index.html>

1. AGRICOLA

Web (Internet) 版でのサービスに変更しました。同時利用は4人までです。

アメリカのNational Agricultural Libraryが作成する農学関係の文献データベースで、雑誌記事を中心に図書の文献も含んでいます。

2. 医学中央雑誌

Web (Internet) 版のみのサービスに変更しました。医学部キャンパス限定で、同時利用は4人までです。

主要な国内医学雑誌約2,400誌をカバーしている文献データベースです。

3. MAGAZINEPLUS

Web (Internet) 版でのサービスです。同時利用は3人までです。

国立国会図書館が作成する「雑誌記事索引」のほかに「ジャーナルインデックス」、「経済・産業記事見出しJOINT」等を含み、国内刊行の学術誌・専門誌から一般誌までが検索できる文献データベースです。

附属図書館委員会委員

(平成13年4月1日現在)

| | |
|--------|--------------------|
| 附属図書館長 | 柏谷 増男 (15. 3. 31) |
| 医学部分館長 | 貴田 嘉一 (15. 2. 28) |
| 農学部分館長 | 安部 武美 (14. 10. 31) |
| 法文学部 | 須之内克彦 (14. 3. 31) |
| | 田村 憲治 (15. 3. 31) |
| 教育学部 | 佐藤 栄作 (14. 3. 31) |
| | 山崎 博司 (15. 3. 31) |
| 理学部 | 平出 耕一 (14. 3. 31) |
| | 川合栄一郎 (15. 3. 31) |
| 医学部 | 小原 克彦 (15. 3. 31) |
| 工学部 | 渡邊 裕 (14. 3. 31) |
| | 白方 祥 (15. 3. 31) |
| 農学部 | 日鷹 一雅 (14. 3. 31) |
| 事務局長 | 塩谷 幾雄 |

() 内は任期

附属図書館委員会

平成13年度第1回附属図書館委員会

日時 平成13年4月18日(水) 13時00分～
場所 附属図書館視聴覚室 (4階)
議事

[報告事項]

1. 平成12年度図書館活動報告
2. 平成12年度学生用図書を選定について
3. 各分館からの報告
4. その他
 - 平成14年度概算要求事項について
 - 学術情報検索について
 - 電子ジャーナル無料トライアルの延長について
 - その他

[協議事項]

1. 附属図書館将来計画委員会について
2. 附属図書館自己点検・評価委員会について
3. 附属図書館委員会図書選定小委員会について
4. その他

図書館日誌 (会議, 研修)

- | | |
|-------|--|
| 4月9日 | 平成13年度新入生オリエンテーション ～10日 |
| 4月18日 | 平成13年度第1回附属図書館委員会 |
| 4月26日 | 第49回中国四国地区大学図書館協議 会総会 (広島) 第28回国立大学図書館協議会中国四 国地区協議会 館長・事務部長・情報サービス課長 出席 |
| 5月17日 | 第72回日本医学図書館協会総会 (宇 都宮) 医学部分館長・情報管理課長・ 医学部分館資料情報係長出席 |
| 5月21日 | 平成13年度第1回医学部図書・情報 委員会 |
| 5月28日 | JIOC/NU発足会合 (東京工業大学) 事務部長・情報管理課長出席 |
| 5月29日 | 国立大学附属図書館事務部課長会議 (東京医科歯科大学) 事務部長・情 報管理課長出席 |
| 6月19日 | 平成13年度愛媛大学中堅職員研修 ～21日 |
| 6月25日 | 第29回四国地区中堅係員研修 (高松) ～29日 |
| 6月27日 | 第48回国立大学図書館協議会総会 (北海道大学) 館長・事務部長・情報 サービス課長出席 |